

佐賀市市民活動プラザのビジョン達成のためのスキーム

【5年後のビジョン】

佐賀市市民活動プラザに市民活動に関わる多様な人々が集まり、多彩な活動を通して”幸せ（やってよかったという思い）感”があふれる。市民活動団体が活動をすすめるうえで必要な人材育成が進み、自団体だけでなく周りの団体や企業、行政等とも協働・連携できるようにネットワークを構築し、地域活動課題の解決が進む環境になっている。

【年度ごとに数値目標や計画している開催回数を達成することで】

新たな利用者が増えることにより、市民活動に関わる市民が増える。ボランティアや市民活動団体の一員として活動などに関わるで、自己肯定感を満たされ活動してよかったと思えるようになる。ヒアリングも年々の積み重ねで、プラザと団体、企業とのパイプも増える。それにより、活動する上での課題なども見いだせ相談支援により団体の活動もスムーズに行えるようになる。団体の活動を担える人材育成も進んでいく。

【今年度、数値目標や計画している開催回数を達成することで】

市民への周知が進みプラザを知り利用することで、多様な人との出会いの場となり、交流会で知り合った団体、企業、人同士が協力し新たな事業へすすむきっかけを掴んでいる。今年度は、相談や活動でプラザを利用されている市民活動団体から人材育成をすすめ、人材育成に関する講座や研修を受講し、その一人ひとりが団体の中で必要な役目を担えるようになっている。また、活動を進めるうえでの問題点などを洗い出せている。

指定管理者として来年度、更に前進した業務の推進ができるように今年中に業務の流れを掴む。

③市民活動の実践者等に対する様々な支援を行い、事業が円滑に行われるように協力する

市民活動団体の活動・事業が円滑にすすむように人材育成の講座や研修を開催する。人材育成は年間10回程度（H29年度は11回開催予定）、相談支援の中での活動上の困りごとなどを反映させ講座や研修などを計画している。

相談支援では、市民活動団体を主に行い、行政や企業からの相談も受け、解決できるようにすすめている。相談内容を職員間で共有することで、誰もが団体の相談支援ができる。

②市民活動団体・行政・企業等の協働・連携の場の拠点として機能する

市民活動団体・行政・企業等の協働・連携の場の拠点として機能することを目的に、市民活動団体や企業のヒアリングをすすめる。市民活動団体の現状を知ることでマッチングや相談支援へつなぐ、また困りごとの中から課題を見出し人材育成などの組み立ても見えてくる。企業ヒアリングでは、どのようなきっかけで市民活動団体とつながり連携できるか探ることができる。

①市民活動の実践者等に対し、活動等の場として施設提供を行う

誰もが参加できる場の提供により、市民活動団体の活動内容を知り活動に魅力や興味を感じた時に参加できるように「いどばたかいぎ」や交流会を開催する。

他には、広報誌や情報コーナー、市民活動ガイドブック、団体紹介ビデオなどで情報の提供を行う。また、社会課題別の講座やボランティアの情報掲示で市民にも活動に参画するきっかけの場の提供を行う。

数値目標 計画している開催回数等	H29	H30	H31	H32	H33	累計
利用者数（人） 数値目標（年）	60,000	61,000	62,000	63,000	64,000	310,000
講座・研修の開催 （開催回数/年）	11	13	12	12	10	58
ヒアリング 団体 （ヒアリング 件数/年）	50	50	60	70	80	310
ヒアリング 企業 （ヒアリング 件数/年）	2	3	3	5	2	15
いどばたかいぎ （開催回数/年）	10	10	10	10	10	50
交流会 （開催回数/年）	3	3	3	3	3	15